



NX-28WRはNA-28に録音機能を付加するプログラムカードです。NA-28とNX-28WRを使用すると、周波数分析中に、測定された音圧レベルと共に音圧波形を収録することが可能です。収録データは非圧縮のWAVE形式なので、WAVE形式に対応したソフトウェア^{※1}で取り扱い可能です。さらに、各種波形分析ソフトにより分析が可能です。

※1 サンプリング周波数により、ソフトウェアが対応していない場合があります。対応していないソフトウェアの場合は、サンプリングコンバータでサンプリング周波数の変換を行ってください。詳しくは、お問い合わせください。

波形収録カード NX-28WR 価格(税別) 150,000円

サンプリング周波数とCFカードにおける収録時間

	128 MB	256 MB	1 GB	2 GB
48 kHz	15分	30分	2時間10分	4時間40分
24 kHz	30分	1時間	4時間20分	9時間20分
12 kHz	1時間	2時間10分	8時間50分	18時間50分
64 kHz	10分	20分	1時間40分	3時間30分
32 kHz	20分	50分	3時間20分	7時間
16 kHz	50分	1時間40分	6時間40分	14時間10分

収録されるデータのファイル数によって若干異なります。

特長1

「収録音の再生」収録データを聞く^{※2}ことにより、不要な音や不明な音がすぐに判ります。

※2 Windows Media Player 使用

- 例 ■ 騒音の分析を行ったが分析結果に不具合が有り、原因が不明。
- 交通騒音の測定中にパトカーのサイレン音が入り、いつ通過したのか不明。
- 建築音響ソフトNX-28BA^{※3}を使用して遮音測定をしたが、1点のデータだけがほかのデータと一致しない。

※3 建築音響ソフトと併用が可能です

特長2

「収録音の再分析」収録波形から波形分析ソフトを使用することで、再分析が可能です。

- 例 ■ 1/1オクターブバンド分析をしたが、都合で1/3オクターブバンド分析が必要になった。
- 1/3オクターブバンド分析をしたが、FFTでさらに細かく分析する必要がある。

仕様

サンプリング周波数	
同時分析時	48 kHz, 24 kHz, 12 kHz
騒音計、オクターブバンド分析、1/3オクターブバンド分析	64 kHz, 32 kHz, 16 kHz
量子化ビット長	16 bit
データフォーマット	WAVE形式
周波数重み付け特性	Z特性(平たん特性)(固定)
録音機能	
イベントモード	レベル録音、インターバル録音、マニュアル録音
トータルモード	トータル録音
建築音響カード(NX-28BA)との併用時	
遮音・衝撃音測定時	トータル録音
残響時間測定時	フリトリガ(1秒)によるトータル録音

NA-28本体で、再生および再分析はできません。

Software NX-28WRで収録したデータは各種ソフトで表示・分析が可能

波形処理ソフト

DA-20PA1 オプション 価格(税別) 100,000円

推奨動作環境

CPU	Intel Pentium 4	2 GHz以上
RAM	512 MB以上	
HDD	10 GB (空き容量)	
対応OS	Microsoft Windows 2000 / XP	



オクターブバンド分析画面例

波形	
読み込みできる波形	NX-28WRで収録したWAVE波形
表示機能	時間軸拡大縮小、実効値、時間率騒音レベル、等価騒音レベル、単発騒音暴露レベル
フィルタ処理	ハイパス、ローパス、バンドパスを任意に選択・フィルタ後の音の再生
ファイル出力	WAVE形式 / CSV形式(どちらもch分割、区間指定が可能)
FFT分析	
周波数レンジ	NA-28の設定による
サンプリング点数	64~32768ポイント
平均機能	リニア平均
窓関数	ハンニング、レクタングラ、フラットトップ
表示機能	パワースペクトル(スペクトル領域で微積分が可能)
オクターブバンド分析	
適合規格	JIS C 1514(IEC 61260)クラス1
分析種類	1/1オクターブバンド、1/3オクターブバンド
分析周波数範囲	1/1オクターブバンド 0.5 Hz~8 kHz(15バンド) 1/3オクターブバンド 0.4 Hz~16 kHz(47バンド)
時間重み特性(時定数)	1 ms、10 ms、35 ms、125 ms(Fast)、630 ms、1s(Slow)、10 s
周波数重み特性	FLAT、A、C、G、Lv